



A 試合会場レポート

試合番号 **981**

開催日 **2018/12/22**

平成30年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 女子 ファイナルラウンド

会場：大田区総合体育館

観客数： 2,500	開始時間： 16:05	終了時間： 17:58	試合時間： 01:53	主審： 北村 友香	副審： 佐々木 伸子
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	------------

久光製薬スプリングス



監督：酒井 新悟
コーチ：大久保 茂和

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	25	第1セット 【 00:23 】	22	1
	23	第2セット 【 00:30 】	25	
	25	第3セット 【 00:25 】	21	
	25	第4セット 【 00:26 】	21	
		第5セット 【 】		

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
- ()内は交代選手 -

NECレッドロケッツ



監督：金子 隆行
コーチ：高橋 悠

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

本日の準決勝の相手NEC戦に向けて、まずはしっかりと準備して臨んだ。序盤から自分達の展開に持ち込むことが出来たが、2セット目は相手の勢いに押されてしまった。中盤から後半にかけて、自チームの中でやるべきことを修正し、しっかりと勝利を掴み取ることが出来た。今年の残りの一戦に全員の力を結集し、昨年の悔しさを晴らす戦いをしたい。本日もたくさんの応援ありがとうございました。

<監督コメント>

1セット目からサーブで攻めて、自分達のバレーをすることが出来ていたが、勝負所で相手のディフェンスにはまり、点数が取れなかった。2セット目、互いに粘りのあるバレーを展開し勝ち切ったのは今回の試合での収穫だと感じる。3、4セット目は久光製薬スプリングスに前半リードを許す場面が多く、苦しい状況が続いていたが、自分達のバレーを出して戦えたと思う。悔しい敗戦となったが、今回の結果をチーム全体でしっかり受け止め、2019年のVリーグに向けて、しっかり準備をしていきたい。本日もたくさんの応援ありがとうございました。

25	古藤	アキンラデウォ	第1セット	柳田	山口	22
	() ()	() ()		小島	() ()	
	今村	石井		上野	島村	
	() ()	() (筒井)		() ()	() ()	
	岩坂	新鍋		荒谷	古賀	
	(加藤)	() ()		() ()	() ()	
リベロ： 戸江 リベロ： 岩崎						

23	古藤	アキンラデウォ	第2セット	柳田	山口	25
	(中川)	(加藤)		小島	(山内)	
	今村	石井		上野	島村	
	() ()	() (筒井)		(篠原)	() ()	
	岩坂	新鍋		荒谷	古賀	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
リベロ： 戸江 リベロ： 岩崎						

25	古藤	アキンラデウォ	第3セット	柳田	山口	21
	() ()	(加藤)		小島	() ()	
	今村	石井		上野	島村	
	() ()	() (筒井)		(篠原)	() ()	
	岩坂	新鍋		荒谷	古賀	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
リベロ： 戸江 リベロ： 岩崎						

25	古藤	アキンラデウォ	第4セット	柳田	山口	21
	() ()	() ()		小島	() ()	
	今村	石井		上野	島村	
	() ()	() (筒井)		(篠原)	() ()	
	岩坂	新鍋		荒谷	古賀	
	() ()	() ()		() ()	(山内)	
リベロ： 戸江 リベロ： 岩崎						

			第5セット			
	() ()	() ()		() ()	() ()	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
	() ()	() ()		() ()	() ()	
リベロ： リベロ：						

<要約レポート>

順当に勝ち上がってきた久光製薬スプリングス対NECレッドロケッツの試合。
第1セット、NECの司令塔・山口は島村、柳田を巧みに操り久光製薬に挑んだ。それに対し久光製薬の司令塔・古藤はアキンラデウォを中心に、NECに臨んだ。試合は終盤まで1点を追う白熱したシーソーゲームとなったが、最後は久光製薬の加藤のサービスエースでこのセットを手に入れた。
第2セット、序盤からNECはサーブで久光製薬を崩すことに成功し、リードを奪った。しかし、久光製薬は今村、新鍋の活躍もあり中盤、追いつく。その後も一進一退を繰り返すが、最後はNECが久光製薬のミス誘い、このセットを手に入れた。
第3セット、序盤から中盤にかけて久光製薬の古藤の巧みなトスワークでNECを翻弄し、リードを奪った。その後も主導権を奪われることなくこのセットを取った。
第4セット、後のないNECは全力で久光製薬に挑んだ。白熱した攻防が続く終盤へと試合はもつれ込んだが、久光製薬のアキンラデウォ、石井の活躍もあり、追いつがるNECを突き放し、この試合に勝利し、決勝へ駒を進めた。

作成者： 柴田 等